

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 鶴ヶ島市は、国保運営をどうしようとするのか（60分）</p> <p>4月17日付け「しんぶん赤旗」によると、「2019年度の国民健康保険料・税について、少なくとも、東京23区を含む311市町村が改定料・税率を決め、うち半数近い140市町村が値上げしたことが、（4月）16日までに日本共産党の調査で分かりました。いまでも高すぎるのに年5万～10万円も値上げされるなど、安倍政権の圧力で大幅・連続値上げが起きている実態が浮き彫りになりました。」とあり、また、値上げの自治体について、年収400万円4人家族の場合の値上げ額が多い順番を10位まで一覧表にしてありますが、その内5つが埼玉県の自治体国保となっています。上尾市（7万円）、桶川市（6.9万円）、熊谷市（6.3万円）、毛呂山町（5万円）、志木市（4.3万円）です。</p> <p>また、5月11日付け「しんぶん赤旗」では、全国的な国保料・税の引上げの傾向は、2017年度以前と比べれば2018年度以降の引上げ自治体が顕著に増えていることが共産党の独自調査から見えてくると報じています。</p> <p>昨年12月議会の一般質問を、私は「高すぎる国保税は引下げを」と題して行いました。残念ながら「引下げ」の検討はなされず、2019年度は小幅ではありますが、引上げられました。改定にあたっての説明では、「今後複数年度ごとの見直しを近隣自治体とのバランスをみながら実施する」ということでした。</p> <p>市は今後国保税をどうしようとしているのか。引上げによって滞納者が増えると予想されますが、市民が等しく医療を受ける権利を保障されるために、どのような施策をとるのか、以下質問します。</p> <p>（1）このような全国での引上げの状況は、県単位化によるものですか。</p> <p>（2）なぜこのような大幅引上げになるのでしょうか。</p> <p>（3）都道府県単位化は、構造的な危機を解決するためだとされていますが、国保税引上げで解決するのでしょうか。</p> <p>（4）国民健康保険とは、そもそもどのような制度なのでしょうか。</p> <p>（5）国保料・税の引上げ圧力として、県が毎年算定する市町村ごとの「標準保険税率」がありますが、鶴ヶ島市は今年度の標準税率通りに引き上げた場合、年収400万円の4人家族の場合はどうなりますか。</p> <p>（6）今後、複数年度ごとに見直すとのことですが、どのような方針で臨むのでしょうか。</p>	市長